



金 融機関としてお金とは何かを常に考えてきました。現代では、お金をとても大事なものと言っていますが、実は非常に危険性をともなうものだと思います。お金は人の心を狂わせて暴走させ、他人を人と思わず、人と人をバラバラにしていまいます。資本主義経済の発展とともに人間は連帯を失って自分本位になってしまいました。現代は自分さえよければいいという考え方が広まっています。貧富の格差が拡大し、苦しんでいる人への思いやりや人間としての気持ちがなくなり、弱者に対して冷たい社会になってしまいました。

近代社会のさまざまな問題がお金によって生みだされたとしたら、それを是正する人間らしい社会を取り戻す必要がある、人を大切にする社会をつくるという理念から協同組合運動は生まれました。本来あるべき人間の姿とは何かを考え、人と人とが人間性を回復するための運動として協同組合運動があります。この思想的背景から信用金庫も生まれました。

*

私が城南信用金庫の理事長に就いたのは、2010年11月です。その後、東日本大震災があり、原発事故が起きました。国などが原発を再稼働させようとしているなかで、原発問題を見て見ぬふりはできない、信用金庫の本来の使命として原発に反対していくことが必要だと思いました。電気が足りないと国や電力会社は言いますが、それは自分たちの経営を守るため、私腹を肥やすためのウソです。日本の国益を害することを国や電力会社が行っています。今さえよければ、自分さえよければいいという考え方の弊害です。



お金の弊害を是正する

城南信用金庫理事長 **吉原 毅** さん

現代は一部の人が巨大な資本を集め、国際的な金融資本が世界を牛耳っています。その人たちが思い通りに世界を支配していますが、それは人々の不幸につながります。お金が猛威をふるうことによって安定した暮らしが突然破綻し、会社が倒産してしまいます。この猛威から人々の暮らしを守り、お金の弊害を是正するのが信用金庫です。

自分たちの儲けのためにリスクを高めて、必要のないことを煽るのではなく、無駄なお金を使わないことを伝え、経営を安定化させるために私たちはお金を扱います。リスクを減らし、みなさんの夢を実現し、健全な発展をとげていくことを見守ることが私たちの役割です。多くの人が共存できる世界にするために、お金の支配される考え方をやめる。それが世界の人々と人類の正しい発展の方向であって、現代の資本主義は間違いだ、ということを世界に広めていくことが大切だと感じています。

よしわら つよし／1955年東京都生まれ。2010年11月、理事長就任。企業として脱原発宣言を行い、自然エネルギーの活用・普及などの活動を行っている。著書に『信用金庫の力』（岩波ブックレット）、『原発ゼロで日本経済は再生する』（角川学芸出版）など。

特集 書き初め

金澤翔子さん、泰子さんに聞く！ 書の魅力	20
書と楽しむこと、そして仲間をつくること	西里俊文 24
書道会メンバーの作品	秋元 拓・松村奈保・金田 潤
書法～台湾で書き初め実践	台湾高級工業職業学校 29
あなたにあった言葉を書きます	金子隆夫・関口忠司 32

連載

編集部が迫る！

発達保障ってなんですか？ ◆茂木俊彦 10

目からウロコ！

障害児の発達を学ぶ ◆赤木和重 16

やさしく学ぶ からだの発達 ◆小嶋優加子 36

世相を斬る！

◆斎藤貴男 4

北欧＝幸せのものさし

◆蘭部英夫 12

写真のちから

◆豆塚 猛 15

アセスメント1・2・3

◆小淵隆司 47

人として	1
映画でアジアとつながろう	5
この子と歩む	6
私の教育実践	40
がんばらない子育て	43
がんばらせない子育て	44
成人期の実践	48
障害と医療	50
なんちゃってクッキング	51
BOOK&イベント	52
みんなのひろば	54
編集後記	

タイトルロゴ 永野徹子
イラスト いばさえみ・勝山英幸・渋谷真理子
永野徹子・堀川 真

2015年
1月号
No.580

みんなの
ねがいの



子どもたちの書き初めです。字を書く子もいれば、絵を描く子も。ありや、足の裏にたっぷり墨を塗った子もいます！ 2015年、どうか、子どもたちの、大きな笑い声が響きわたる年でありますように。みんなが、自由にのびのびと、生きられますように。

表紙イラスト／松本春野

★今月の読みどころ

北欧＝幸せのものさし

障害者権利条約が批准された今年。福祉先進国といわれる北欧の障害者はどう暮らしているか？ 蘭部事務局長は、この20年で11回、人の顔が感じられる規模の小さな町を訪ね、日本の現状と運動と重ねあわせながら問題提起しています。豊富な写真とインタビューを多用したエッセイとのコラボページ。いよいよ最終盤です。